

令和8年度 第1回 治験審査委員会

1. 日時：令和8年5月25日(月) 午後4時30分～午後5時05分

2. 場所：事務局内会議室4

3. 出席者 11名

委員長	医師	副医局長兼臨床研究部長	木村 智樹
副委員長	薬剤師	薬剤部長兼臨床研究部次長	小崎 耕自
委員	医師	副医局長兼脳神経内科主任部長	湯浅 浩之
	医師	整形外科主任部長	貝沼 慎悟
	技師	臨床検査部技師長	中村 美子
	看護師	看護外来看護師主任	野田 里美
	事務	事務局長	熊谷 由美
	事務	財政課長兼財務係長兼管財経理係長	加藤 幹也
	事務	臨床研究部治験管理室	加藤 淳人
外部委員		元公立瀬戸旭看護専門学校事務局長	横江 俊次
		元瀬戸市ノベルティこども創造館館長	加藤 流慈

欠席者 5名

医師	副院長	大河内 治
医師	健康管理部主任部長	松浦 哲生
医師	循環器内科部長兼臨床研究部次長	神原 貴博
医師	腎臓内科主任部長	稲葉 慎一郎
看護師	看護第二部長	大矢 なぎさ

審議については、病院治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4ならびに医師主導治験における治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4を満たしたため、会が成立審議を始めた。

4. 議題

【審議事項】

- 1) 株式会社新日本科学 PPD（治験国内代理人）の依頼によるコントロール不良な重症喘息を有する成人及び青年期患者を対象とした GB-0895 追加療法を検討する第3相試験
(新日本科学 PPD)
⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
審議結果：承認
- 2) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による肺線維症患者を対象とした admilparant の安全性を評価するオープンラベル試験
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)
⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
審議結果：承認
- 3) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管疾患の既往を有する患者を対象とした TQJ230 の第III相試験
(ノバルティスファーマ)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
審議結果：承認
- 4) アムジェン株式会社の依頼による心血管疾患を対象とした Olpasiran (AMG890) の第III相試験
(アムジェン)
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2026. 4. 30) 治験分担医師について審議した。

審議結果：承認

- 5) 特発性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2026. 4. 3) 治験分担医師 (2026. 4. 27) 治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験薬概要書、治験参加カードについて審議した。

審議結果：承認

- 6) 進行性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2026. 4. 3) 治験分担医師 (2026. 4. 27) 治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験薬概要書、治験参加カードについて審議した。

審議結果：承認

- 7) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者及び進行性肺線維症患者を対象とした BI 1015550 の長期継続第Ⅲ相試験
(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒ (2026. 5. 8) 治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書、その他について審議した。

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 8) 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患の患者を対象として治験薬の安全性及び有効性を評価するプラットフォーム試験

(メドペイス・ジャパン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒ (2026. 5. 1) 治験実施計画書、治験分担医師、その他 (レター) について審議した。

審議結果：承認

- 9) MD-712 第Ⅱ/Ⅲ相試験

(持田製薬)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2026. 4. 28) 治験分担医師について審議した。

審議結果：承認

- 10) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管系疾患の既往を有する患者を対象とした pelacarsen (TQJ230) の第Ⅲ相継続投与試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2026. 5. 7) 治験分担医師について審議した。

審議結果：承認

- 11) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症（IPF）患者を対象に、標準治療の併用又は非併用下で BI 765423 を投与したときに肺機能への効果がみられるかどうかを検討する試験

（日本ベーリンガーインゲルハイム）

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒（2026. 5. 8）治験実施計画書、説明文書、同意文書について審議した。

審議結果：承認

- 12) 肺線維症の家族歴及び間質性肺異常を有する人を対象に、悪化リスクの軽減を目的としてネランドミラストを 24 カ月投与した時の有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照、探索的試験（DROP-PFF）

（日本ベーリンガーインゲルハイム）

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒（2026. 4. 24）治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験薬概要書について審議した。

審議結果：承認

- 13) インスメッド合同会社の依頼による間質性肺疾患に伴う肺高血圧症患者を対象としたトレプロスチニルパルミチル吸入粉末剤の第 3 相試験

（インスメッド）

⇒（2026. 5. 8）治験分担医師について審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

（終了報告）

- 1) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症（IPF）患者を対象に BI 1819479 が肺機能を改善するかどうかを検討する試験

（日本ベーリンガーインゲルハイム）

- 2) 成人 PH-ILD 被験者を対象とした seralutinib の有効性と安全性の試験

（新日本科学 PPD）

（開発中止等に関する報告）

- 1) 成人 PH-ILD 被験者を対象とした seralutinib の有効性と安全性の試験

（新日本科学 PPD）

【次回開催日】

令和 8 年 7 月 27 日（月） 16 時 30 分より